

<シンポジウム>

沿岸域におけるアユの生理・生態特性の解明

日時・場所 平成20年3月31日 9:00~17:10 第5会場(8号館)

企画責任者:内田和男(水研セ中央水研)・田子泰彦(富山水試)・原田慈雄(和歌山農水総技セ)・大竹二雄(東大海洋研)・鈴木満平(水研セ中央水研)

9:00~9:15	開会の挨拶	内田和男(水研セ中央水研)
	I. アユの資源増殖・管理の現状	座長:内田和男(水研セ中央水研)
9:15~9:40	1. 山形県におけるアユの資源増殖と管理	桂 和彦(山形県農林水産部)
9:40~10:05	2. 神奈川県におけるアユの資源増殖と管理	相沢 康・中川研一(神奈川水技セ)
10:05~10:30	3. アユの資源管理方策	森山彰久(東大海洋研)・原田泰志(三重大院生資)
10:30~10:45	質疑	
	II. 沿岸域での生理特性	座長:田子泰彦(富山水試)
10:45~11:10	1. アユは母川回帰するのか	大竹二雄(東大海洋研)
11:10~11:35	2. アユ仔稚魚の環境適応に関与する遺伝子	矢田 崇(水研セ中央水研)
11:35~12:00	3. アユの系統と水温・塩分耐性の関係	井口恵一朗(水研セ中央水研)
12:00~12:15	質疑	
	III. 沿岸域での生態特性	座長:大竹二雄(東大海洋研)
13:15~13:40	1. 沿岸域におけるアユの栄養・食物網	坂野博之(水研セ中央水研)
13:40~14:05	2. 北日本海域のアユの生態特性	田子泰彦(富山水試)
14:05~14:30	3. 紀伊水道域のアユの生態特性	原田慈雄(和歌山農水総技セ)・池脇義弘・石田鉄兵(徳島農水総技セ)・藤井久之・加藤邦彰(和歌山農水総技セ)
14:30~14:45	質疑	
	IV. 沿岸域での資源変動要因	座長:原田慈雄(和歌山農水総技セ)
14:45~15:10	1. 山形県鼠ヶ関川におけるアユの生命表	内田和男(水研セ中央水研)
15:10~15:35	2. アユの減耗要因と遡上量予測	山本祥一郎(水研セ中央水研)
15:35~16:00	3. 沿岸流とアユ仔魚の分散	木村伸吾・北川貴士(東大院新領域/海洋研)
16:00~16:15	質疑	
16:15~17:00	総合討論	座長:内田和男(水研セ中央水研) 田子泰彦(富山水試) 原田慈雄(和歌山農水総技セ) 大竹二雄(東大海洋研)
17:00~17:10	閉会挨拶	鈴木満平(水研セ中央水研)

企画の趣旨

アユは我が国を代表する「淡水魚」である。内水面漁業資源の重要魚種として、また遊漁の対象として人気が高い。しかし、本種の資源増殖・管理の実践において、平成15~16年にかけて日本海沿岸で稚アユの遡上量が激減した事例など、資源水準の低下と著しい年変動が問題となっている。近年、アユの資源変動の鍵は河川での再生産過程だけではなく、両側回遊魚である本種の海洋生活期にあることがわかってきた。

適切な資源保全と増殖対策立案のためには、今、早急に海域における生態解明と両側回遊に関わる生理学的特性の理解を進めなくてはならない。近年、急速に進んだこの分野の研究成果をとりまとめ、今後の研究方針を立てるために、全国のアユ研究者が一堂に会し議論を尽くす必要がある。日本水産学会のシンポジウムとして、「沿岸域におけるアユの生理・生態特性の解明」を提案する。